

## 1) 歯周外科が難しい症例のメンテナンスについて

— 重度の歯周炎および基礎疾患を持った患者さんの症例から — 入江 舞

歯周治療は歯周ポケットの測定を中心とした検査から始まります。初期から進行した中期や末期の患者さんには歯周外科手術が必要になりますが、内科的な疾患を持った患者さんでは歯周外科手術が困難な事があります。

そのような患者さんは定期的に来院してもらい、メンテナンス治療によって管理することで、歯周病の進行を抑制することが可能です。

今回、糖尿病と高血圧症で歯周手術が出来ない患者さんのメンテナンス治療症例、慢性腎不全によって手術が出来ない患者さん、また重度の歯周病で手術が出来ない患者さんの3人の経過を提示し、基礎疾患などで歯周病の手術が出来ない患者さんのメンテナンスにおける注意点および必要な検査について発表します。

## 2) 各種PDのクラスプの種類と特徴について

浅田 康隆

部分床義歯のクラスプには種々の形態があります。これらは作成方法や使用材料から鑄造鉤および線鉤（ワイヤークラスプ）に分けられます。また形態からもエーカータイプや双歯鉤などに分類されます。

クラスプは歯の歯頸部に位置することから、歯周ポケットへのプラークが溜まりにくい形態が求められます。また付与する位置をよく考えなければなりません。いくら良い義歯やクラスプが作成されても、あくまで天然歯に負担をかける人工物であることには変わりなく、残った歯に極力負担をかけない設計が大切であります。

今回、クラスプの種類やその名称、各種利点・欠点などについて発表します。

## 3) 各種治療計画の立案とポイントについて

山本 千尋

初診で来院された患者さんは自分の病気が歯科・歯周病科・矯正科などのどの分野で治療すればよいのかわかりません。当たり前であり、我々は最良の治療方法・費用・期間を説明する必要があります。そのためには、正確な検査を行い、正しい診断を下し、患者さんに説明し治療を進めるかの意思を確認しなければなりません。“インフォームドコンセント”は“説明と同意”という意味で有名ですが、それは正確な検査と正しい診断後になされることを忘れてはなりません。①正確な検査→②正しい診断→③患者さんへの治療内容・期間・費用などの説明→④患者さんの治療を進めるかどうかの意思の確認→⑤患者さんに適した治療計画の立案、という順序で進めることが大切です。

患者さんの意思を無視した治療計画では治療はうまく進みません。術者側の正しい診断と患者さんの治療を行う強い意志の両方がなければ治療計画は“絵に描いた餅”になってしまいます。

歯周治療やインプラント治療では、患者さんの日頃からの清掃がなければ成功しません。そのためには治療の前に、生活習慣から変えてもらう確固たる意思の確認が大切です。歯科治療は患者さんがすることはありません。しかし歯周病科では患者さんに行ってもらうことが7割を占めます。各科での違いを患者さんによく知ってもらう必要があります。

今回、各科の検査内容と治療計画立案に際して注意すべきことを発表します。